新城市民病院での研修を終えて

豊橋市民病院

一か月間に亘って、新城市民病院で地域研修をさせていただき、こちらで経験させて頂いたことや学ばせて頂いたこと、感想などを記すことで今回の研修におけるレポートに代えさせて頂きます。

新城市民病院での地域研修において、実際の活動は大きく分けて院内研修と院外研修の 2 つに分かれていました。院内においては主に総合診療科にて、午前中は外来診療、午後は病棟における入院患者の回診や救急車対応、カンファレンスに参加させて頂き、それとは別に毎朝の勉強会が持ち回りでありました。外来診療では初診の患者の診察をさせていただき、系統だった問診の仕方や身体所見の取り方を教えて頂きました。また、研修医一人に対して指導医一人が決まっており、一日の振り返りをしていただきました。加えて、日常の診療で疑問に思ったことに対して、いつでも快く答えてくださり、私自身が学習したいことに応じて文献検索や検査の仕方などのサポートをしていただきました。

院外においては、訪問リハビリや訪問看護に帯同させていただきました。急性期を過ぎた患者が、自宅でどのようなサービスを受けて、日常を過ごしているのかを知ることができる貴重な機会になりました。病院内で仕事をしているだけでは、退院後の患者が何に困っており、どういったことを求めているのか、想像することはできても具体的なイメージを持つことは困難でした。その一端を知ることができただけでも訪問は大変有意義だったと思います。また、地域診療所や助産所、介護保険施設で診療の様子を見学させていただきました。とくに、診療所では地域におけるプライマリケアの最前線として、診療所に求められる役割についてお話を伺うことができ勉強になりました。一方で、普段自分が研修している総合病院とは大きく異なる設備の中で診療を行わなければならないという難しさを実感することもできました。

今回の地域研修においては総合診療科に所属させていただいたので、日常的にその科の先生方にご指導していただいていました。私が新城市民病院での研修においてもっとも勉強になったと感じたことは、先生方の学習の仕方や、その取り組む姿勢でした。新城市民病院には EBM を用いた学習方法が根付いており、一か月の短い期間でその空気に触れることができたのは大変有意義でした。また、非常に優秀な先生方が、目の前の患者、一人一人の現状に合わせて、エビデンスに基づいた最適な診療を提供しようと努力される姿に深く感銘を覚えました。研修が始まる前に、以前に新城市民病院で地域研修をされた先生から「新城での研修は勉強になる」と伺っており期待していましたが、今は期待以上の経験をすることができたと感じています。今回の研修で学んだことを、医療者として今後の糧にさせていただきたいと強く思いました。

最後に、総合診療科の先生方はじめ、お世話になった新城市民病院の職員のみなさまに、この場を借りて深くお礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。